

第4回 港湾におけるICT導入検討委員会 議事概要

日時：平成29年10月20日（金） 15：00～17：00

場所：国土交通省 中央合同庁舎2号館 共用会議室5

1. 主な議事

○事務局より、港湾における今後のICT活用の拡大方針等について説明をした後、委員による意見交換を行った。

2. 主な意見

○現在実施中の試行工事（ICT 浚渫工）に対するアンケートにおいては、ICTの導入効果や新基準案についての意見等に加えて、対応可能な技術者の状況や人材育成、発注者への要望等についても調査すべき。

○中小企業は個々の企業で技術開発を行うのは難しい。ICTの導入にあたっては、別途開発された技術を活用することになるが、この場合、特許などの権利関係の整理が課題になると考えられることから、この対処が必要。

○今後、どういう工種にICTを活用していくのかという方針を検討するにあたっては、生産性向上やコスト削減などの効果を見る必要がある。したがって、実際に様々なICTを活用している施工業者などと意見交換等を行い、官民が一体となって検討していくことが必要。

○潜水作業など、作業員の安全性向上の観点からもICT活用は重要。

○取得された点群データを使ってCAD図面に描くには、隅角部のデータが取れているか、など課題があるので、対応策の検討が必要。

○ICTを活用していくにあたっては、データの信頼性を確保する必要があるので、ISO等の国際標準の動向をふまえ、国際的にも認められるようなデータとしていくことが必要。

○CIMの活用では、次のプロセスにデータを引き継いでいくことが重要であるので、後戻りがないように各プロセスで必要なデータを取得することが必要。また、点検作業の効率化等の維持管理段階にも有効であるが、データが膨大な量となることが考えられるので、維持管理を行う者に引き渡すデータの選別等についての検討が必要。

○ICT導入について、中長期のロードマップ等があれば民間事業者は取り組みやすい。

以上